

NSG

GROUP



NSG グループ

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)

日本板硝子株式会社
2017年8月4日

諸岡 賢一

代表執行役副社長兼CFO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

イアン・スミス

経理部 グループファイナンス担当ディレクター

NSGグループ・2018年3月期第1四半期決算説明会にご参加いただき、ありがとうございます。

CFOの諸岡です。

本日の説明会には、私とCOOのクレメンス・ミラー、そして経理部・グループファイナンス担当ディレクターのイアン・スミスが同席しております。

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)



目次

要点
決算概要
事業状況
まとめ

4ページは、本日の説明内容となります。

本日は、私の方から、この目次に沿って説明いたします。

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)



目次

要点

決算概要

事業状況

まとめ

要点：2017年4月－2017年6月

- 第1四半期の業績は計画通り、中期経営計画(MTP)フェーズ2の初年度として順調なスタート
- 欧州は好調な市場の影響を享受
- 高機能ガラス事業の業績は改善
- 生産性の改善が進展

それでは、6ページをご覧ください。

本日、2018年3月期第1四半期の業績を発表しました。業績の概要ですが、このスライドにまとめた通りでございます。

まず、第1四半期の業績は計画通りに進捗しており、中期経営計画(MTP)フェーズ2の初年度として、順調なスタートを切ることができました。

好調な欧州市場の影響や高機能ガラス事業における業績改善のほか、自動車用ガラス事業の欧州と北米における生産性の改善とコスト削減が、業績に寄与しています。

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)



目次

要点

決算概要

事業状況

まとめ

連結損益計算書



(億円)	2017年3月期 4月-6月期	2018年3月期 4月-6月期	前年比
売上高	1,505	1,469	-2%
無形資産償却前営業利益	89	92	3%
償却費*	(18)	(5)	
営業利益	71	87	23%
個別開示項目	78	(4)	
金融費用(純額)	(42)	(39)	
持分法による投資損益	0	4	
税引前利益	107	48	
当期利益	44	28	
親会社の所有者に帰属する当期利益	39	25	
EBITDA	162	162	

* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

第1四半期業績は計画通り

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

8

8ページは、連結損益計算書になります。

売上高は1,469億円となり、前年比2%の減収となりました。

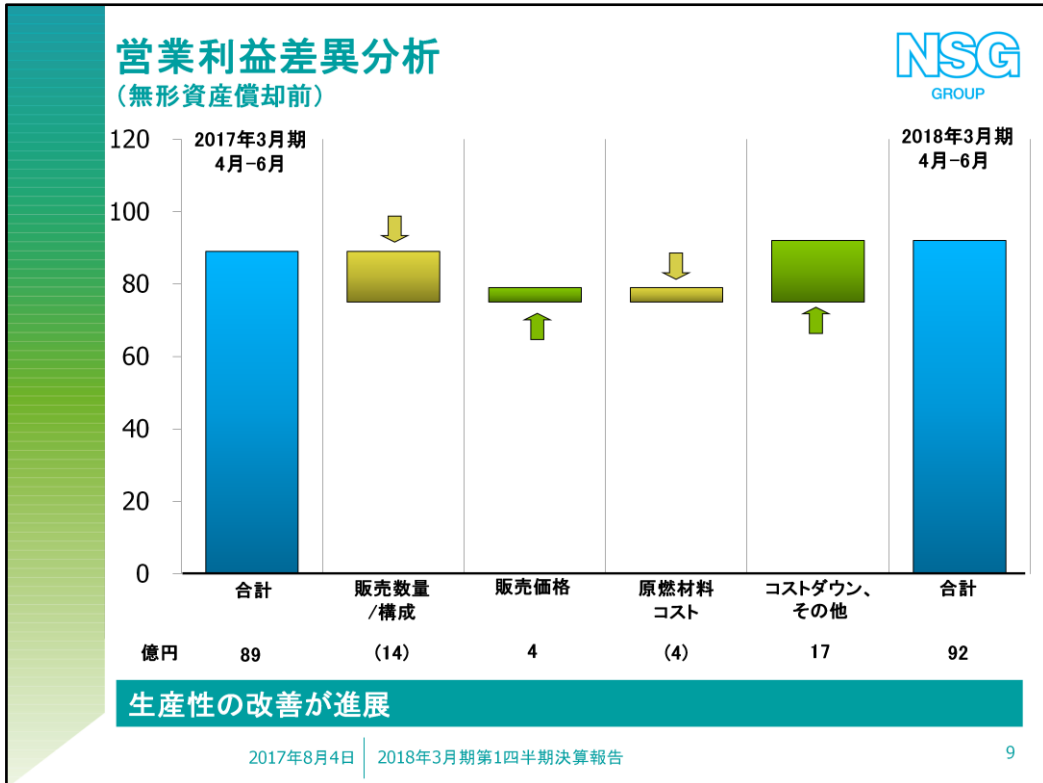
営業利益は、ビルキントン社買収時に認識した無形資産の償却費の減少、及び事業業績の改善により、前年比23%増の87億円となりました。

個別開示項目は4億円の損失となりました。前年の数字には固定資産の売却益が含まれておりました。

金融費用及び持分法による投資損益は、前年から改善しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、25億円となりました。

当期利益は、個別開示項目で計上するような一過性の利益の力を借りることなく、黒字になっております。



9ページへ移ります。ここでは、無形資産償却前営業利益について、前年との差異について説明しています。

「販売数量/構成」ですが、主要顧客における設備切り替えと北米の建築用ガラス事業での生産能力の一時的な減少の影響を受けています。

「販売価格」ですが、主に欧州の建築用ガラス事業で改善しています。

「原燃材料コスト」は、一部の地域でエネルギー・コストが増加していますが、ほぼ横ばいで推移しています。

「コストダウン、その他」には、当社グループが継続して取り組んでおります生産性改善やコスト削減の効果が含まれております。

昨年の第1四半期においては、原燃材料のメリット17億円を享受し、一昨年より利益改善となりましたが、今年は事業改善によって前年より増益を図っております。

個別開示項目



(億円)	2017年3月期	2018年3月期
	4月-6月期	4月-6月期
保険金の受取による利益	-	10
有形固定資産等の売却による利益	77	-
事業撤退による利益	9	-
関連会社に対する投資の売却による利益	7	-
設備休止に係る費用	-	(11)
有形固定資産等の減損損失	(7)	(2)
リストラクチャリング費用	(7)	(2)
その他	(1)	1
	78	(4)

前年は有形固定資産等の売却益を計上

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

10

10ページへ移ります。ここでは、個別開示項目の内訳をご確認いただけます。

2018年3月期第1四半期では、4億円の損失を計上しています。

「保険金の受取による利益」は、米国イリノイ州で発生した竜巻によるオタワ工場の被災を受けて、保険金を受領したことによるものです。また、「設備休止に係る費用」は、2017年5月12日付けで公表の通り、オタワ工場のフロート窯について、修繕を当初予定より前倒して実施する決定を行ったことに関連して発生したものです。

「有形固定資産等の減損損失」及び「リストラクチャリング費用」は、損益の改善を図っていく過程で、低稼働設備の整理や不採算部門のリストラによって生じたものです。

前年度には「有形固定資産等の売却による利益」を計上しております。

(注: 主として、日本とマレーシアで実施したセール・アンド・リースバック取引によるものです。)

連結キャッシュ・フロー



(億円)	2017年3月期	2018年3月期
	4月-6月期	4月-6月期
当期利益	44	28
減価償却費	91	77
減損損失	7	2
有形固定資産等売却益・事業撤退による利益	(94)	(2)
法人所得税支払額	(19)	(14)
その他	62	(3)
営業活動によるキャッシュ・フロー（運転資本の増減考慮前）	91	88
運転資本の増減	(111)	(139)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(20)	(51)
有形固定資産の取得	(78)	(71)
資産売却収入	86	3
その他	(5)	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	3	(66)
フリー・キャッシュ・フロー	(17)	(117)

運転資本の季節的な変動の影響を受ける

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

11

11ページはキャッシュ・フローです。

フリー・キャッシュ・フローは、運転資本の季節的な変動による影響を受けましたが、計画に沿った形で、年度末に向けて改善していくものと見込んでおります。

第1四半期ではフリー・キャッシュ・フローがマイナスになりましたが、前年度に続き、年度トータルではプラスになる計画です。

主要財務指標(KPI)



	2017年3月末	2017年6月末
ネット借入(億円)	3,133	3,319
ネット借入/EBITDA	5.0x	5.3x
ネット借入/純資産比率	2.3x	2.4x

	2017年3月期 4月-6月期	2018年3月期 4月-6月期
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	4.0x	4.5x
営業利益率*	5.9%	6.3%

* 無形資産償却前営業利益

収益関連指標の改善

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

12

12ページは、主要財務KPIの一覧です。

「ネット借入」は、運転資本の季節的な増加及び円安に伴う為替換算の影響により、増加しています。

その一方、「営業利益率」は、事業業績の改善を反映し、6.3%に改善しています。

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)



目次

要点

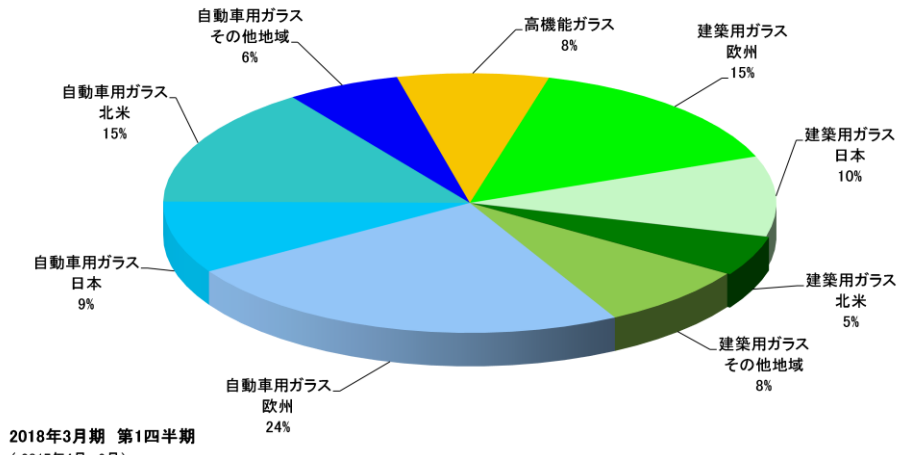
決算概要

事業状況

まとめ

事業別売上高

1,469億円



2018年3月期 第1四半期
(2017年4月-6月)

グローバルに事業展開

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

14

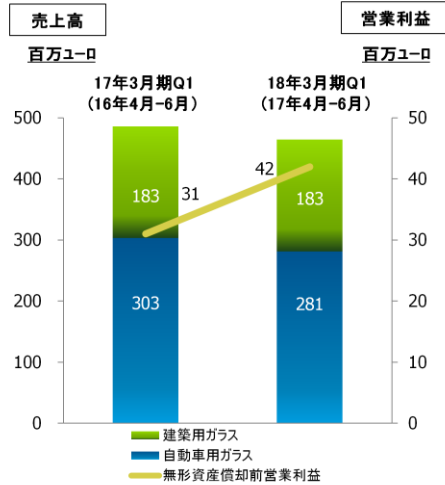
14ページへ移ります。

このスライドは、当社グループの事業セグメント毎の売上高の構成比を示しています。

(注：当社グループの売上高の構成比ですが、欧州が40%、日本が24%、北米が20%、その他が16%となっています。)

欧州

2017年3月期第1四半期との比較



建築用ガラス事業

- 好調な需要に支えられ、価格は堅調
- 生産は順調に推移

自動車用ガラス事業

- 生産性の改善が進展し、増益

両事業とも業績堅調

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

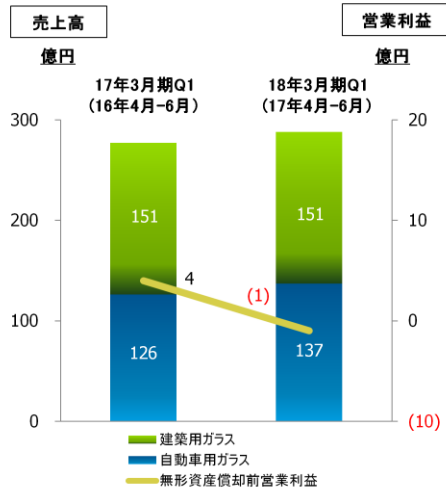
15

15ページへ移ります。ここでは欧州における当社グループの建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業の業績についてご覧いただけます。

建築用ガラス事業の利益は、好調な需要によって支えられた堅調な価格と生産が順調に推移したことにより、改善しています。

自動車用ガラス事業は、当社ガラス納入モデルの立ち上げ遅れの影響もありましたが、生産性の改善が進展し、増益となりました。

日本 2017年3月期第1四半期との比較



建築用ガラス事業

- 販売数量と価格は前年並みの水準
- 品質に関連した引当金等の一過性の要因による影響を受ける

自動車用ガラス事業

- 乗用車販売台数の増加を反映し増収

一過性の要因により減益

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

16

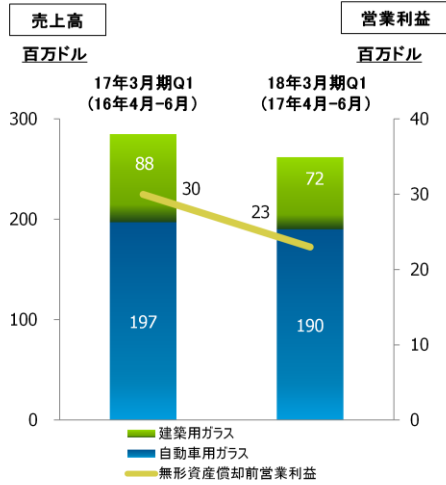
16ページは日本です。

建築用ガラス事業は、品質に関連した引当金等の一過性の要因の影響を受け、減益になりました。

自動車用ガラス事業の売上高は、乗用車販売台数の増加を反映し、改善していません。

北米

2017年3月期第1四半期との比較



建築用ガラス事業

- 生産能力の一時的な減少と主要顧客における設備切り替えの影響を受け、減収減益

自動車用ガラス事業

- 生産性の改善の一方、市場における数量減の影響を受け、減収減益

一時的な事象による影響を受ける

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

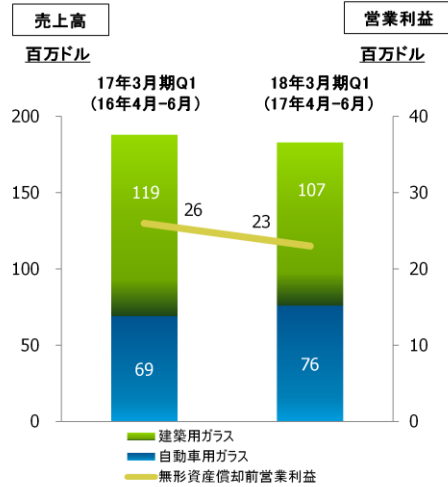
17

17ページの北米へ移ります。

建築用ガラス事業は、フロート窯の修繕に伴う生産能力の一時的な減少により、減収減益になりました。さらに、太陽電池用ガラスの売上は、主要顧客における設備切り替えの影響を受けました。

自動車用ガラス事業は、市場において数量が減少したことによる影響を受けましたが、生産性が改善し、利益を支えています。

その他地域 2017年3月期第1四半期との比較



建築用ガラス事業

- 国内向け市場は改善
- ベトナムのフロート窯定修の影響により、減益
- 主要顧客における設備切り替えの影響により減収

自動車用ガラス事業

- 南米の市場では改善の兆候が見られる

国内向け市場では改善が見られる

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

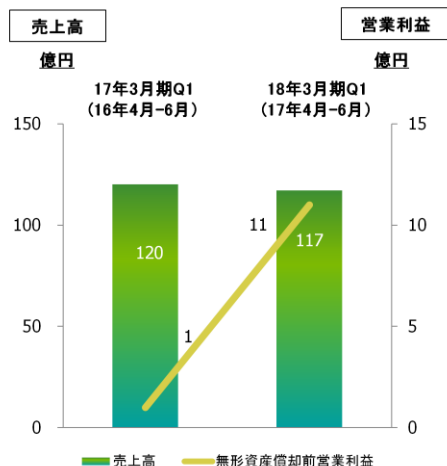
18

18ページは、その他の地域です。

建築用ガラス事業では、マレーシア・ベトナム・アルゼンチン・チリなどの国内向け市場において全般的に改善が見られました。その一方で、第1四半期中に完了したベトナムのフロート窯の定修や主要顧客における設備切り替えの影響を受けました。

南米の自動車用ガラス市場ですが、改善の兆候を見せています。

高機能ガラス事業 2017年3月期第1四半期との比較



高機能ガラス事業

- 一部製品の価格改善により、ディスプレイの赤字は縮小
- プリンター用レンズの数量は増加
- グラスコードの販売数量は堅調に推移
- バッテリーセパレーターの業績は引き続き好調

全てのセグメントで利益改善

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

19

19ページの高機能ガラス事業へ移ります。

全てのセグメントにおいて、前年から業績が改善しています。

ディスプレイでは一部製品の価格が改善したことにより、赤字がさらに縮小しました。

プリンター用レンズの数量は増加しました。

グラスコードの販売数量は堅調に推移し、バッテリーセパレーターの数量も増加しました。

持分法適用会社 2017年3月期第1四半期との比較



(億円)	2017年3月期 4月-6月期	2018年3月期 4月-6月期
持分法による投資損益	0	4

- セブラセ(ブラジルのジョイント・ベンチャー)の業績は前年度からわずかに改善

持分法による投資利益は改善

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

20

20ページは持分法適用会社になります。

持分法による投資損益は、前年から改善しています。

ブラジルのジョイント・ベンチャーであるセブラセの業績は前年を上回っています。

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)



目次

要点
決算概要
事業状況
まとめ

まとめ

- 第1四半期の業績は計画通り、中期経営計画(MTP)フェーズ2の初年度として順調なスタート
- 欧州は好調な市場の影響を享受
- 高機能ガラス事業の業績は改善
- 生産性の改善が進展
- 2018年3月期の通期業績見通しは変更なし

最後に、22ページが本日のまとめになります。

第1四半期の業績は計画通りに進捗しており、中期経営計画(MTP)フェーズ2の初年度として、順調なスタートを切ることができました。

好調な欧州市場の影響や高機能ガラス事業における業績改善のほか、自動車用ガラス事業の主要市場における生産性の改善とコスト削減が、業績に寄与しています。

2018年3月期の通期業績見通しは変更しておりません。各地域の市場環境は、概ね安定的に推移するものと見込んでおります。また、VA戦略・生産性改善・コスト削減をベースとした業務改善は着実に進捗し、基調は変わっておりません。

これにて、本日の説明は終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高

2017年3月期第1四半期との比較



(億円)	2017年3月期 4月-6月期	2018年3月期 4月-6月期	増減
建築用ガラス	599	574	(25)
欧州	223	224	1
日本	151	151	0
北米	96	80	(16)
その他の地域	129	119	(10)
自動車用ガラス	785	776	(9)
欧州	370	344	(26)
日本	126	137	11
北米	214	211	(3)
その他の地域	75	84	9
高機能ガラス	120	117	(3)
欧州	18	19	1
日本	62	59	(3)
北米	3	3	0
その他の地域	37	36	(1)
その他	1	2	1
欧州	0	1	1
日本	1	1	0
北米	0	0	0
その他の地域	0	0	0
合計	1,505	1,469	(36)

2017年8月4日 | 2018年3月期第1四半期決算報告

25

償却前営業利益*

2017年3月期第1四半期との比較

(億円)	2017年3月期 4月-6月期	2018年3月期 4月-6月期	増減
事業別			
建築用ガラス	65	59	(6)
自動車用ガラス	37	41	4
高機能ガラス	1	11	10
その他	(14)	(19)	(5)
合計	89	92	3
地域別			
欧州	35	48	13
日本	(6)	(5)	1
北米	31	24	(7)
その他の地域	29	25	(4)
合計	89	92	3

*: 無形資産償却前営業利益

連結貸借対照表

(億円)	2017年3月末	2017年6月末	増減
資産	7,902	7,795	(107)
非流動資産	5,278	5,361	83
のれん・無形資産	1,623	1,703	80
有形固定資産	2,452	2,498	46
その他	1,203	1,160	(43)
流動資産	2,624	2,434	(190)
現金及び現金同等物	849	571	(278)
その他	1,775	1,863	88
負債	6,565	6,388	(177)
流動負債	2,232	2,185	(47)
金融負債	798	837	39
その他	1,434	1,348	(86)
非流動負債	4,333	4,203	(130)
金融負債	3,196	3,060	(136)
その他	1,137	1,143	6
資本	1,337	1,407	70
親会社の所有に帰属する持分	1,241	1,323	82
非支配持分	96	84	(12)
負債及び資本	7,902	7,795	(107)

為替レート



	2017年3月期 4月-6月期	2017年3月期	2018年3月期 4月-6月期
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	155	142	142
円/米ドル	108	108	111
円/ユーロ	122	119	122
期末為替レート:			
円/英ポンド	138	139	146
円/米ドル	103	111	112
円/ユーロ	114	119	128

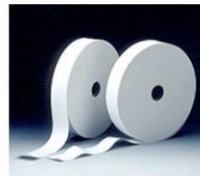
VA製品紹介 - 成長する鉛蓄電池用セパレーター



セパレーター事業: 高性能ガラス事業の一分野。鉛蓄電池用セパレーターが主軸製品

ISS*向け鉛蓄電池用セパレーター * ISS: アイドリングストップ&スタート

- 自動車の省燃費、省エネルギー化、環境対策を背景にISS車の増加が見込まれグローバルで2020年までにCAGR 15%で成長
- ISS用電池では従来のバッテリーと比べ充放電の負荷が増大するため、より高い耐久性や高度な電池特性が求められる
- セパレーターは電池特性向上において重要な役割を担い当社はこの分野のテクノロジーリーダー
- ISS用電池向けガラスマット(AGM)並びにポリエチレン(PE)セパレーターの両方を有している唯一のメーカー



ガラスマット(AGM)
セパレーター



ポリエチレン(PE)
セパレーター

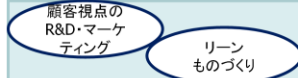
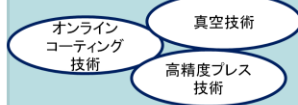
コア技術を通じ燃料削減・CO2排出削減へ貢献

MTPフェーズ2: 4つの重点施策概要

VA No.1 戦略の推進

•「成長が見込める分野」「当社の強みがある分野」でトップポジションを狙う

- 方策:
 -NSGの技術力、ブランド力が最大限発揮できる地域分野、製品においてVA化にリソースを集中
 -顧客との関係強化、戦略的提携も活用



ビジネスカルチャーイノベーション

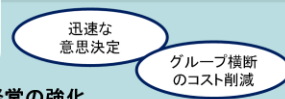
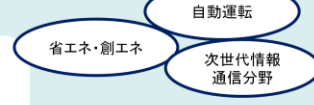
•リーンな事業体制の作りこみ

- 方策:
 -すべての仕事の見直し
 -各地域の「ものづくり」体制強化
 -顧客視点に基づくグローバル研究開発体制の最適化
 -マーケティング面における顧客志向の強化

成長ドライバーの確立

•有望な複数の成長ドライバーの立ち上げ

- 有望分野:
 -建築(省エネ、創エネ、健康、デザイン性)
 -自動車(自動運転、コネクテッド、UV・IRカット、軽量化)
 -高性能(独自技術を生かした新製品展開、用途開発)



VAガラスカンパニー

グローバル経営の強化

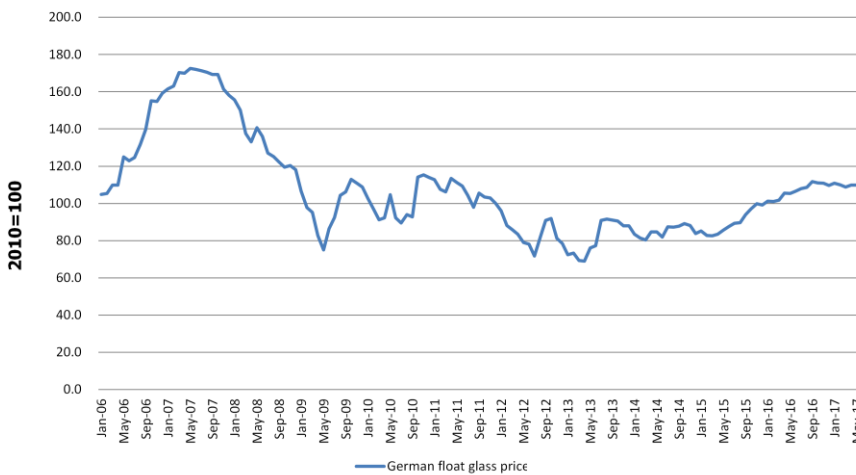
•グループ全体最適を追求し、グローバル経営を進化させる

- 方策:
 -人材開発の推進、多様な人材の登用
 -柔軟な組織運営と迅速な意思決定ができる組織
 -グループ横断的なコスト削減の継続

ドイツ板ガラス価格指標

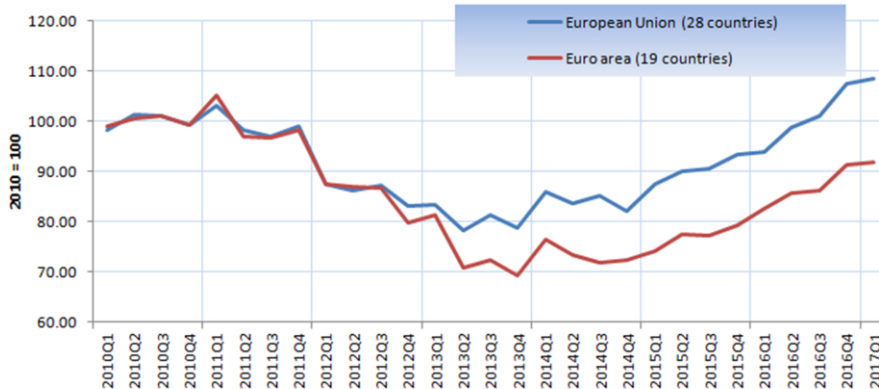


2006年1月から2017年6月までの
ドイツ板ガラス価格の推移



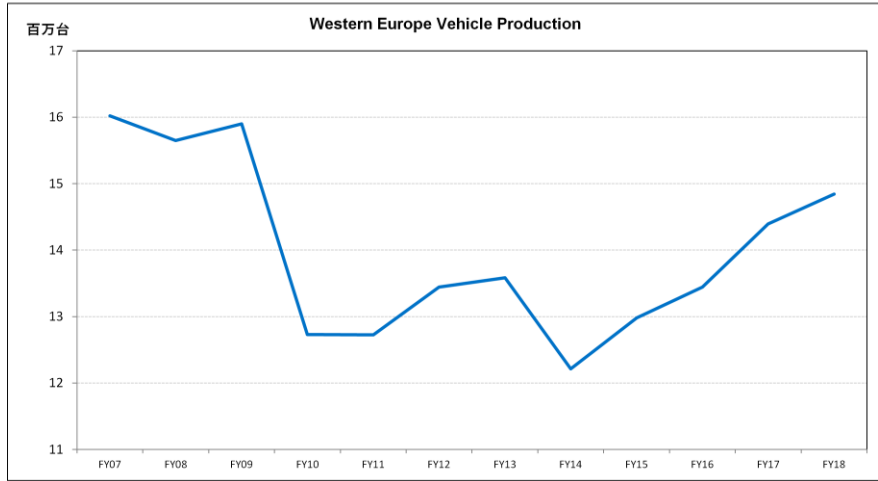
欧州住宅建設許可指数

Production Statistic - Building Licences (dwellings)



Source: Eurostat

西欧乘用车生产台数



Source: IHS, LMC July 2017

NSG

GROUP